

社会に満足を。

# ユニークなデザイン・発想による 価値ある商品とサービスの創出

新しい価値を創造するために、一人ひとりが「挑戦と改革」の意識を持って「ユニークネス」を追求していきます。常に生活者の視点に立ち、ユニークな発想で美しく心地よい商品やサービスをデザインし、お客様に新たな利便性・安全性や楽しさなどの価値を提供します。



## 1 顧客満足に繋がる環境配慮商品・サービスの展開

プラスグループは企業理念である「新しい価値で、新しい満足を。」を具現化し、日々の事業活動を通じて社会課題の解決に貢献していくことが使命だと考えています。私たちが大切にしていることは、お客様の満足です。何よりもお客様を重視し、常に「生活者視点」に立って物事を考え、モノづくりを行っています。さらに、商品・サービスの在り方を合理的かつシンプルに再構築する「社会最適」を追求し続けることで、原材料の調達から製造、販売、使用、廃棄、回収・リサイクルに至るあらゆるプロセス

で環境に順応したモノづくり・サービス開発を実現。お客様にも循環型社会の構築に参画いただくことで、社会全体での価値創出を推進しています。

また、私たちは、「自由と個を尊重」し、全社員が「デザインへのこだわり」を持つことで、当社グループ全体で豊かな創造力を生み出しています。これからも新しい価値を創造するために、一人ひとりが「挑戦と改革」の意識を持って「ユニークネス」を追求していきます。

### 早生広葉樹センダンを用いたオフィス家具 「Vicenda(ヴィチェンダ)」シリーズ



プラス株式会社  
ファニチャーカンパニー  
マーケティング本部  
商品開発部 商品開発一課  
岩本 壘

「ヴィチェンダ」はイタリア語で“お互い”。この家具はその名の通り、木の持つあたたかみと強度に優れるスチールを組み合わせ、モダンでシンプルな意匠と執務テーブルとしての実用性を兼ね備えています。財団法人日本産業デザイン振興会が主催する「2023年度グッドデザイン賞」を受賞しました。

国内の森林にはCO<sub>2</sub>吸収量が減少した伐採期を迎えた針葉樹が多く、放置され続けた森林は公益的機能を十分に果たせず、台風や豪雨による土砂災害の危険性を高めると



右:テーブル、  
左:シェルフ

いう問題があります。そこで、プラスでは、カーボンニュートラルへの取り組みとして、放置されている針葉樹を適切に伐採し、CO<sub>2</sub>吸収量の高い若木の早生樹を植樹することでCO<sub>2</sub>吸収量を向上させ、伐採した国産木材を製品化する木材循環システムのプロジェクトを2022年1月に立ち上げました。

Vicendaシリーズは、天板表面にセンダン、天板芯材に国産スギ材を使用。センダンはCO<sub>2</sub>吸収能力が一般的な広葉樹よりも約3倍高く、伐採までに20~30年という非常に成長速度が早い特長を持つ国産早生広葉樹です。2022年より協同組合福岡・大川家具工業会 地域材開発部会の「センダンサイクル」(→P.45)に参画し、取り組みを進めています。今後も製品を通してCO<sub>2</sub>削減と持続可能な森林経営へ貢献していきます。

## 2 新たな働き方を支援する商品・サービスの開発

オフィス空間の提案は、その企業の事業内容はもちろん、業務の流れ、人の動きといった効率性だけでなく、企業ポリシーや社風、対外イメージやブランディングといった企業の姿、フィロソフィーの部分まで理解し、お客様の想う「姿」をオフィスという「カタチ」にするという壮大なプロジェクトです。

プラスグループは、お客様のことを深く理解し、お客様の期待を超える満足はどこにあるのかを常に考え、それを具現化する

るオフィス空間を提案します。その企業が発信するメッセージに共鳴し、社内外の人々が集い、出会うプラットフォームとして「引力のあるオフィス」を提案するため、オフィス空間の既成概念にとられない自由な発想と感性を大切にしています。

**オフィスに「引力」を。**  
人をひきつける 社会をひきつける 未来をひきよせる

### 最先端の触覚技術をオフィス家具に応用

プラス株式会社と東京大学発スタートアップの株式会社 commissure(コミシュア)は、2023年10月、最先端の触覚技術を活用した共同研究を開始しました。触覚技術とは、人間の手が物が触れた時の皮膚感覚を人工的に設計し再現する技術。言葉や映像では伝わりにくい肉體感覚を他者と共有できるようになるため、ヘルスケアやスポーツ等、さまざまな領域への応用

が期待されています。こうした最先端技術と、当社が培ってきたハード・ソフト両面における生産性向上のノウハウを掛け合わせることで、人の身体や動きに寄り添う新たな椅子型デバイスや、快適でスマートな仕事空間を生み出していきます。今後、変化し続けるワークスタイルに対して、「触覚」という観点から新たなソリューションを提供していきます。

### CREATORE with PLUS

プラス株式会社は、最新のオフィストレンドをご体感いただけるプラスのオフィス家具ショールーム「CREATORE with PLUS(クリアトール ウィズ プラス)」を運営しています。2020年2月に全国初となる店舗を広島にオープンし、同年12月に福岡、2022年1月に名古屋、11月にはファニチャーカンパニーの新拠点である恵比寿に4つ目となる「CREATORE with PLUS恵比寿/東京」を開設しました。ショールーム内には、家具や床・壁などの空間素材、インテリアアクセサリなどの展示だけでなく、それらのコーディネート事例や、VRを使ったオフィス空間の

仮想体験ができるラボスペースなどを設置。各エリアでお客様の理想に寄り添いながら幅広いお客様にオフィスづくりをトータルサポートしています。

また、定期的に外部講師・ゲストを招いたセミナーやアート展、ワークショップなどのイベントも開催し、幅広いお客様にご来場いただいています。今後も「CREATORE with PLUS」は、ショールームの枠を越えたオフィスづくりにおける「共創の場」を目指していきます。



CREATORE with PLUS(恵比寿)



CREATORE with PLUS(名古屋)



CREATORE with PLUS(福岡)



CREATORE with PLUS(広島)

## 3 新しい物流モデルの創造

プラス ロジスティクス株式会社では、ノンアセット型<sup>※</sup>の事業展開の中で、センター運営から配送までの物流スキームをお客様ごとにカスタマイズして構築し、最適な物流戦略をデザインしています。また、プラス カーゴサービス株式会社とタウンサービス株式会社は、全国各地の地場に強い配送会社とのネットワークを活かして、お客様の荷物特性に合わせた配送パートナーをご提案します。さらに、3社のシナジーを活かし

て、家具・家電の組立設置や医療を支える検体回収・輸送業務、プロ野球球団の用具配送など、付帯業務や専門性を伴う配送サービスを提供しています。「物流をデザインする物流設計企業」として、今後も固定観念にとられない発想でお客様ごとに最適な物流サービスを提案していきます。

※自社の設備(倉庫、車両など)を保有しないこと。